

本年度の重点目標

・一人ひとりの尊厳を重んじ、その能力を伸ばし、豊かな人間性を備えた人間の育成をめざす。
 ・センター的機能を推進し、地域に開かれた学校づくりに努める。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	組織や教育環境の具体的課題を明らかにし、全教職員共通理解のもと学校経営に努めている。	A	A	A
	学校、家庭、地域が連携し、明るい学校づくりに努めている。	A	A	A
2 教育課程・学習指導	児童生徒の自立と社会参加を目指した教育課程の編成に努めている。	A	A	A
	児童生徒一人ひとりの発達段階や学習理解の実態を踏まえ、わかりやすい授業に努めている。	A	A	A
3 生徒指導	児童生徒の実態にあわせたきめ細かな生活指導や通学指導に努めている。	A	A	A
	自発的な活動を通して心豊かにたくましく生きる人間の育成に努めている。	A	A	A
	いじめを見逃さないよう、児童生徒の学校生活の把握および指導を行う。	A	A	A
4 進路指導	体験的な取り組みをとおして働くことの喜びや大切さを知らせ、卒業後の進路を考えられるように努める。	A	A	A
	関係機関等の障害者理解の促進に努めている。	A	A	A
5 保健・安全指導	児童生徒の健康の増進と体力の向上に努め、体力づくりを学習で取り組んでいる。	A	A	A
	家庭・医療関係等との連携を図り、児童生徒一人ひとりの生命の維持、健康安全に努めている。	A	A	A
	自助袋の取組や避難訓練等をとおして防災意識を高めている。	A	A	A
6 人権教育	児童生徒一人ひとりがお互いが人として尊重しあう仲間づくりに努めている。	A	A	A
	教職員研修を実施し、児童生徒に対する人権教育の授業に取り組んでいる。	A	A	A
7 環境教育	身近な自然や環境を学習の場とした教育活動に努めている。	A	A	A
	児童生徒の実態に応じて清掃や美化活動を行っている。	A	A	A
8 交流及び共同学習	学校間交流や地域との交流を進め、児童生徒の生活経験の拡大に努めている。	A	A	A
	障害者の有無にかかわらず、地域で共に暮らす社会実現を目指し共同学習に取り組んでいる。	B	B	A
9 教職員の現職教育	幅広いテーマで計画的な研修を実施し日々の教育活動にいかしている。	A	A	A
	特別支援教育に関する組織的な研修を推進し、専門性の向上に努めている。	A	A	A
10 センター的機能の発揮	特別支援教育の趣旨を踏まえ、地域のニーズを的確に把握した教育相談活動に努めている。	A	A	A
	特別支援学校としての専門性を生かし地域のセンター的役割を担っている。	A	A	A
11 その他学校の取組み	自己評価や学校関係者の評価を行い、評価結果の公表と教育活動の改善に努めている。	A	A	A
	花販売や緑化活動をとおして、地域に根ざし、地域に開かれた学校づくりに努めている。	A	A	A
	学校の情報を地域や保護者にホームページやメール等で積極的に発信している。	A	A	A

注・生徒指導の欄に、いじめの項目を入れること。

・自己評価：A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。ただし、アンケートの結果等を機械的にA B C Dの評価に置き換えるのではなく、学校の現状を真摯に分析・検討し、今後の学校改善につながるよう、適切に評価すること。

1	学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ○花販売、地域との防災・学校評議員の会など、地元集落との連携を密にしている。 ○令和5年度に、学校運営協議会の設置を行った。
2	教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭との連携を心がけ、懇談、参観、通信、連絡帳等を通じて、児童生徒の教育や支援について、丁寧に対応している。 ○GIGAスクール構想の下、校内でICT推進チームを結成。タブレット端末を利用した学習等、新しいスタイルの授業構築に向けて、教員による研修会をおこなっている。
3	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○普段の生活や学習のきまりを、発達段階に応じ、絵やデジタル画像等を用いて、わかりやすく伝えている。 ○長期休業中の生活が安全に送れるよう、その過ごし方の重要事項について、各クラスにおいて必要に応じてお知らせしている。 ○中学部では、学期はじめ・終わりに単独通学生徒の通学指導を実施した。また生徒の実態に応じた交通安全教室を実施した。 ○高等部では、学期はじめ・終わりに自主通学・単独通学生徒の通学指導を実施し、安全への継続的な意識づけをしている。
4	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○PTA進路現地研修会を3回にわたって11月に実施した。また、必要な情報を保護者等に伝えた。 ○小学6年生、中学3年生の進路懇談を行い、情報提供や相談を行った。また、中学部と高等部の合同で職業の学習を行った。 ○就労体験時に企業や事業所に出向き、生徒が取り組む姿を観察しながらキャリア教育に繋げている。また、働くことへの意欲を高めるための取り組みとして高等部職業コースでは、企業参観やしごと検定を行った。生活自立コースは、社会人講師を招聘し、地域の職場から学ぶ学習を実施した。 ○「企業の知見を生かした授業改善の推進事業」として、年2回(6月、11月)、協力企業の方に高等部の授業を参観していただき、意見を聞き、授業改善に努めた。
5	保健・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ○各学部とも体育の他に小学部では朝のつどい、中学部はランニング・エアロビ等、高等部は朝の体力づくりを行っている。 ○健康状態の変化や心配な点があれば、養護教諭と確認の上、保護者等に連絡している。 ○毎月の身体測定の結果から保護者等と連携し肥満指導を行った。 ○歯の健康について各学部で外部講師を招いて歯磨き指導を実施した。歯磨きカードを使用して給食後の歯磨きを実施した。 ○年間を通じて、学校医や学校薬剤師との連携をおこなっている。 ○施設・設備、備品等についての安全点検を全教職員で毎月実施している。 ○避難訓練を実施し、児童生徒の身のまわりの安全や危険を回避する能力を育成している。5月は地震避難訓練を、10月は水害避難訓練とPTAの引き渡し訓練を同時に行った。1月には、地震火災避難訓練と消火訓練を行った。 ○職員で救命対応研修会を行った。 ○感染症予防対策の為、手洗いチェッカーを活用した指導を実施した。 ○三密を避けるためにランチルームを分散化しながらも食の安全に留意し食育指導に努めた。
6	人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ○学部やクラスの指導で友達との関わり方を中心に随時指導している。 ○中学部、高等部では、性教育や友だちとの接し方について理解を深める取り組みを行った。 ○高等部では、SNSの利用やトラブルの学習を行った。 ○いじめ防止対策委員会が中心となって「いじめに関するアンケート調査」をおこない、児童生徒の実態把握に努めている。
7	環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ○中学部・高等部では授業として掃除を行い、日常生活の中で実践できる力を育てている。 ○授業で校外に出たときには、地域の良さが発見できるような活動を工夫している。 ○高等部では、校舎正門前や新旭駅前緑化活動をおこない、環境美化への認識を深めた。
8	交流教育	<ul style="list-style-type: none"> ○小学部は新旭南小学校と交流を10月と11月に行った。 ○小学部では、保護者からの申請があった場合、地域の小学校との「副籍」による交流を行った。 ○中学部では、お互いの作品の展示交流を行った。 ○高等部では、花販売学習をとおして、地域との関係を深めてきた。今年度は、太田会館と新庄公民館で販売を6月と11月に行った。また地域の社会人を講師に招聘し、交流を図りながら職業教育を行った。 ○高等部では、スポーツ交流大会に参加し、他校の生徒とスポーツを通じた交流を行った。

9	教職員の 現職教育	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に教育課程検討委員会を実施し、本校の児童生徒の実態に見合った教育課程を協議している。 ○各学部ともに研究授業を実施し、授業反省会を行い指導力の向上に努めている。 ○学習指導案(デザインシート)を持ち寄り、研修を行った。 ○人権教育や服務規律についての研修会を実施した。 ○全教員が参加する「全校研修会」を実施し、学部横断的な授業力向上を図った。 ○スクールソーシャルワーカーを招聘し、いじめ問題を中心に研修会を実施した。 ○交通安全、個人情報の取り扱いについての研修を行った。
10	センター的機能の 発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○支援部を中心に、高島市の巡回相談に加わっている。また、市内のこども園、保育園、小学校、中学校等への相談・支援活動もおこなっている。 ○8月に地域の校園の特別支援教育に関する知識・専門性の向上と本校の教育活動を知らせる研修会を実施した。 ○県のみならず、高島市や長浜市が主催する教育・福祉関係の会議に幅広く出席している。
11	その他学校の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○各回の学校評価の後、関係者(学校運営協議会委員等)の意見を聞き、改善を図っている。 ○過年度に対応できなかった残留物も含め、使えなくなった家電製品の廃棄処理を行った。 ○学級通信・学部通信等により学校の様子を伝えている。 ○ホームページに学校行事等の取り組みを載せ、更新を行っている。 ○まちcomiメールにより、警報発表時だけでなく学校行事の際の情報等を、保護者等に迅速に伝えている。 ○職員の働き方改革を目的とした「No会議デー」や学校閉庁日を設定し、職員が健康的に勤務することができている。